

1. 件 名：六ヶ所地域の原子力事業者防災訓練に関する意見交換について

2. 日 時：令和5年11月17日（火）13時30分～15時30分

3. 場 所：原子力規制庁3階 緊急事案対策室 執務室

4. 出席者（テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁

緊急事案対策室

澤村専門官、嶋崎専門官、武長専門職、蔦澤専門職

日本原燃株式会社

安全・品質本部安全推進部防災グループリーダー 他6名

公益財団法人核物質管理センター六ヶ所保障措置センター（以下「核管六ヶ所」という。）

安全管理課長代理

5. 要 旨

日本原燃株式会社及び核管六ヶ所から、令和5年10月13日に実施した日本原燃株式会社濃縮事業部、同社埋設事業部及び同社再処理事業無並びに核管六ヶ所における原子力事業者防災訓練について、当該訓練で確認された問題点・課題、原因分析、原因分析を踏まえた対策について、ERCプラント班との訓練後の振り返りや社内評価結果も踏まえまとめた資料1に基づき説明があった。

原子力規制庁から、以下の指摘を踏まえて、今後の原子力防災対策に向けた改善点を検討した上で防災訓練実施結果報告書の検討を行うよう、機構に伝えた。

- ・両社共通の指摘事項として、抽出された顕在化した個別課題を抽出して、主な改善事項として設定するプロセスを明確化すること。その場合、良好事例であっても、個人の力量が原因である場合もあるので、組織として安定した力量を発揮できないのであれば課題として抽出すべき。
- ・両社共通の指摘事項として近隣の原子力施設において原子力緊急事態が発生した場合にそれぞれの施設が講じるべき措置の検討・実施について、常に連携を図ること。今回も日本原燃株式会社再処理施設がGEに至っているのに他の施設では体制縮小を図ろうとしている。
- ・核管六ヶ所はレベルアップ課題のうち、情報伝達にアッカル事項は重要課題として扱うとともに、情報整理に係る事項は人員配置の適正化を検討すること。

日本原燃株式会社及び核管六ヶ所からは、本日の意見を踏まえ、訓練結果報告書のとりまとめを行う旨の説明があった。

6. その他

配布資料：

資料1 2023年度原子力防災訓練における改善事項と今後の取組みについて（日本原燃株式会社）

資料2 令和5年度原子力防災訓練実施後の課題抽出結果について（公益財団法人 核物質管理センター 六ヶ所保障措置センター）